

つきたい力

- 必要な情報を効果的に集める力
- 集めた情報を活用し、課題を解決しようとする力
- 集めた情報を整理し、わかりやすく伝える力

取組みの概要・ポイント

- 学校図書館を有効的に活用し、情報活用能力を高める。
- 考えるための技法として「思考ツール(シンキングツール)」を活用する。
- 各学年で「書くこと」を中心に据えた表現力に関する指導目標を設定し、表現力育成に向けた系統化を図る。

具体的な取組みの内容

学校図書館を活用した授業づくり

①図書館利用指導

自分の知りたい情報の資料はどこにあるのか、資料を見つけたら、どのようにして調べればいいのかを系統立てて指導することで、そのあとに続く、調べ学習が円滑に進むようになっている。

【本の並び方】

低学年：図書館の地図づくり 高学年：日本十進分類法

【調べる資料】

2・3年生「図鑑」 4年生「百科事典」 5年生「年鑑」

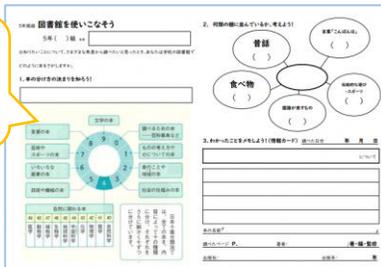
【その他】

- 出典の書き方を段階的に指導
- 著作権についても触れる。

②情報カード

「資料を読んで、自分の考えを書く」ことができるように、情報カードに「自分の考え」欄を設けた。

5年生
日本十進分類
法で資料を探す



分類が分からないときは…

4年生で学んだ
百科事典で調べる

ピラミッドチャート
をもとにした
ドリップチャート



③思考ツールの活用
調べた情報を思考
ツールを使って整理し、
自分の考えをまとめる
手立てにしている。



本に親しむ場づくり

①学校図書館司書との連携

- 図書館は常時開館している。
- 授業に必要な図書の選書や資料の提案など、教員と連携している。

②地域の幼稚園との連携

- 「本好き」な子どもに育てるために、入学以前の読書体験を大切に、地域の幼稚園と連携している。
- 幼稚園児の図書館利用
(司書による読み聞かせやSE担当者によるエプロンシアター等)
- 幼稚園が新たにつくった絵本の部屋の配架アドバイス

③学校図書館以外の場づくり

- 学年ごとにおすすめ本を配架する。
- 壁に子ども新聞を貼りだす。

友だちと
新聞を
楽しむ姿も

今年度の
取組み報告は
こちら



取組みを通しての子どもの変容

- 情報カードの見直しによって、今まで情報を書き写して満足していた子どもたちも、書き写した内容、言葉の意味を考え、調べるというよい効果が見られた。
- 資料を整理する際に、思考ツール等を活用することで、わくわく問題を参考に作成した「校内見取るテスト」の正答率が上がっている。
- 情報をもとに考え、自分の思ったことを表現する力を身につけつつある。